

利用者クライアントソフト（Windows版）の注意事項について

利用者クライアントソフト（Windows版）について、動作検証の結果、設定に関する注意事項が判明しておりますので、以下に示します。

記

（1）Windows10以降の環境でのハイコントラストの問題

【発生事象】

Windows10以降の環境のデスクトップ背景がハイコントラストの場合、利用者クライアントソフトの「証明書表示機能」、「動作確認機能」及び「オンライン失効申請機能」において文字が読み取りにくくなる。

【回避策】

デスクトップの背景設定においてハイコントラストモードを使用しないでください。

（2）すべてのアプリの「公的個人認証サービス」フォルダ内に「ユーティリティ」

フォルダが表示されない問題

【発生事象】

すべてのアプリの「公的個人認証サービス」フォルダ内に「ユーティリティ」フォルダが表示されない。

【回避策】

Windows10以降では、すべてのアプリに公的個人認証サービスフォルダが登録されます。登録された公的個人認証サービスフォルダ内にはショートカットのみが配置され、ユーティリティフォルダが表示されませんが、エクスプローラ上では「ユーティリティ」フォルダは作成されており、正しく配置されています。

本事象はOSの仕様によるものであり、ショートカットは正常に動作しており、利用者クライアントソフトの動作に影響はありません。

（3）「画面上の文字を大きくする機能」を利用した場合、メニュー画面等が正常に表示されない問題

【発生事象】

「画面上の文字を大きくする機能」を利用した場合、利用者クライアントソフトのメニュー画面等、一部の画面が正常に表示されない。

【回避策】

「画面上の文字を大きくする機能」は使用しないでください。

- (4) 「アプリのインストール」設定を「ストアのアプリのみ許可する」にした場合、
利用者クライアントソフトのインストールができない

【発生事象】

Windows10 CreatorsUpdate から追加された「アプリのインストール」設定で「ストアのアプリのみ」を選択した場合、利用者クライアントソフトのインストールが出来ない。

【回避策】

利用者クライアントソフトのインストール時は、「アプリのインストール」設定を「Microsoft Store のアプリのみ許可する」以外に設定してください。

以上